

受け身ではなく どう前進するか！・・・熟考と実践・・・

尚恵学園 理事長 住田 福祉

繰り返される災害（地震・火災・疫病など）から何を学ぶことができるでしょうか？

先進の「科学の知」からも予見できない不確実性に満ちた現実、長期化するコロナ禍によって当たり前のことのできない事へのイラ立ちや不安から元の状態に戻ることが果たして良いのかどうか？

自分達の生活そのものを問い直す機会にすべきです。

そのためには創意と工夫が条件になると思います。日本は自由と平等がせめぎ合っている、どちらかに偏り過ぎれば、様々な問題が生まれ、結局は自分さえ良ければという考えになり、お互いに生きづらさを感じるようになってしまいます。ポストコロナでどのような生活の場を再建したらよいかを考えなければなりません。令和3年度は 国に頼り過ぎず 先ず地域の視点をもって 前向きに進んでいきましょう。失敗を恐れず、失敗から学ぶことです。

そうすれば 必ずや、我々の実践が源泉となり、誰しものが孤立ではなく主体的に参加できる開かれた社会の構築に寄与できると信じます。それには皆さんのご協力が是が非でも必要になります。